学校番号	１０１２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習 A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	最新世界史図説　タペストリー　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史演習 A は、講義形式の授業だけでなく、一人 1 台端末を活用して、歴史上の人物や歴史事象の調べ学習を行い、発表を通してみんなで知識の共有をします。
現在の国際情勢につながる歴史事象について、「なぜ」の視点を持って多面的に考察したり、歴史上の人物の生き方を学んで自分の人生に生かしたりと、みんなで世界史の扉を開きましょう。

2　学習の到達目標

・諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・古代史を中心に、世界の歴史を日本の歴史や地理的条件と関連付けながら考察し、平和でよりよい社会を実現するため、課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明する力を養う。
・古代史における課題意識を高めることで、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等を育み、社会や生活の中で生徒が様々な困難に直面する可能性を低くすることや、直面した困難への対処方法を見いだすことをできるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 ・諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	古代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、主体的に追求する。 歴史に大きな影響を与えた人物や事象について歴史的に考察できる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	古代オリエント世界	●オリエントの風土 ●メソポタミア文明 ●エジプト文明 ●東地中海世界 ●ヘブライ人とユダヤ教 ●オリエント統一とイラン人国家	a:諸資料を活用し、メソポタミア文明とエジプト文明の特色について理解している。 b:「ハンムラビ法典」や「死者の書」など古代オリエントの諸文化について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:古代オリエントでうまれた知識や技術のうち、後世からみて最も重要と思われるものは何か、自身の生活や経験とも関連付けて、主体的に追求しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワーク レポート課題 口頭発表
2	ギリシア世界	●エーゲ文明 ●ポリス社会 ●アテネの民主制 ●ペルシア戦争 ●ヘレニズム時代	a:エーゲ文明の特徴について理解している。アケメネス朝などオリエント世界と関係しながら展開していることを理解している。 b:ペルシア戦争とポリスの衰退について多面的・多角的に考察し、表現している。ヘレニズム文化の特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:アテネ民主政は、現代の民主政と比べてどのような違いがあるか、主体的に追求しようとしている。ヘレニズム時代にうまれた文化のうち、のちの時代に最も重要な影響を与えたものは何か、自身の生活や経験とも関連付けて、主体的に追求しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワーク レポート課題 口頭発表
	ローマ世界	●ローマ共和政 ●ローマ帝国 ●ローマ文化 ●キリスト教の成立	a:ローマの共和政はどのようにして帝政へと変容していったのか理解している。ローマ帝国におけるキリスト教の拡大について理解している。 b:ローマ領の拡大と帝政への移行について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:アテネの民主政とローマの共和政の違いについて、主体的に追求しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワーク レポート課題 口頭発表

3	東アジア世界の形成	●中国文明 ●殷と周 ●春秋・戦国時代 ●秦・漢	a:古代中国の王朝がどのような特徴をもっていたか理解している。 b:東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関りなどに着目し、中国王朝の統治体制と社会や文化の特色、近隣諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養い、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワーク レポート課題 口頭発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度